

Una Passeggiata d'Organo オルガンの散歩 / U18 アトリエ

勉強会

すべて参加無料です。

U18 アトリエ勉強会へのご参加の方へ

資料等準備の都合上、下記へご連絡下さい。

U18 アトリエコンサート／勉強会 於 山野辺宅

18才以下の方対象。なお、18才以下の方は、ご両親、お友達等どなたでもお誘いください。

2月23日（日） 午後3時から

3時から

アトリエコンサート violino 高橋和奏 clavicembalo 立木彩音 曲目未定

4時ごろから

アトリエ勉強会 Les 24 violons du Roy 勉強会 第2回 （辻川慶子先生）

勉強会では「王の24の violon 奏者」とはどういうものだったのか、フランス語で学びます。

フランスの17世紀のオーケストラは下記5通りのヴァイオリン属の楽器で構成されていました。それがどの様なものだったかフランス語で学びます。かっこ内はオーケストラにおけるそれぞれの楽器の数を示します。

dessus de violon(6), hautes-contre de violon(4), tailles de violon(4),

quintes de violon(4), basses de violon(6)

ご参加予定の方にテキストをお送りします。事前にお申し込み下さい

U18 アトリエ勉強会／チェンバロ練習室・発表会 於 山野辺宅

18才以下の方対象。なお、18才以下の方は、ご両親、お友達等どなたでもお誘いください。

3月30日（日） 2時から アトリエ勉強会 （オルガンの散歩38ラテン語準備室）

Introitus (Requiem æternam)を読んでみましょう。

次ページに Introitus の全文があります。

3時ごろから チェンバロ練習室

4時ごろ 発表会 4時半終了

オルガンの散歩38は5月中旬以降に開催される予定です。チャペルでレクイエムを歌ってみましょう。

また、普段ピアノで弾いている曲をイタリアンチェンバロ^(注1)で弾いてみましょう。

自己紹介、曲目紹介はなるべくフランス語かイタリア語をお願いします。英語不可

(注1) クープランを弾くためのイタリアンチェンバロ(GG,AA~d3)を使用します。(曲目は自由です。)

オルガンの散歩参加者募集

オルガン散歩その38（5月末ごろを計画中）午後6:00から

於 ビクトリアチャペル 八王子ホテルニューグランド内

八王子市大和田町6-1-6 tel 042 645 0015

現在、このオルガンの散歩38への参加者を募集中です。

18才以下の方はどなたでも参加できます。歌や楽器で第1部（18歳以下の部）やインテルメディオ（旧プレコンサート）へご参加ください。

なお、インテルメディオでは5声部を持つ器楽曲として

Requiem 1689 (Michel-Richard de Lalande)

Atys 1676 (Jean-Baptist Lully)

の一部を取り上げる予定です。

また、楽器で参加される方もラテン語の合唱に参加しましょう。上記ラテン語準備室もご活用ください。

オルガンの散歩、並びに *Seminario di musica* のご紹介

すべて参加無料です。

どちらも小中学生、高校生のみなさんのご参加をお待ちしています。 ご家族でご参加下さい。

オルガンの散歩

チャペルコンサート「オルガンの散歩」は八王子ホテルニューグランドにあるチャペルグランドヴィクトリアで行われるコンサートシリーズです。このチャペルは元もと19世紀にイギリスで建てられた教会ですが、区画整理により取り壊しとなり、その後レンガ等をすべて八王子へ移送後、ほぼ元の形に建てられました。天井高10m、そしてさらに5mの半円ドーム状になっています。

「オルガンの散歩」はこのヨーロッパの響きの中で、声楽や器楽の素晴らしさを再発見する目的で、2003年に始まりました。弦楽器数人と歌手により始まりましたが、現在では20人程の器楽奏者で grand motet (グラン・モテ) を演奏し、また器楽奏者が grand choeur (合唱) を歌います。一部、petit choeur (独唱や各パート1人による二重唱、三重唱など) は専門家が努めることがあります。

一つのグラン・モテを演奏するための練習はラテン語勉強会から始まります。ラテン語の歌詞はラテン語で書かれたもの以外に、ヘブライ語で書かれた旧約聖書の詩編のギリシャ語訳 (Septuaginta) をラテン語にしたものが多く用いられています。フランスの音楽では器楽が歌の正確ななぞりであり、器楽におけるフレーズはそのままラテン語の文章に対応します。そもそも phrase (仏)、frase (伊) は文章と言う意味です。グラン・モテにおいては様々なラテン語が取り上げられ、その文章にどのような拍節、つまりリズムやメロディーが与えられているかを知ることができます。このようなラテン語の歌をたくさん知る事は器楽演奏を豊かにするものだと思います。器楽曲においても、自由にフレーズを空想するばかりでなく、多くのラテン語の歌を基本知識とした上でフレーズを考えてみましょう。また、器楽だけの部分 (symphonie) を見ると、ある歌がどのように器楽用にアレンジされたか知ることができます。

2014年も、オルガンの散歩は年3回行われる予定です。2014年最初のオルガンの散歩では次のラテン語を取り上げる予定です。作曲家としては Michel-Richard de Lalande を予定しています。

なお、今年から、オルガンの散歩のコンサート後半 (第2部) では時代を広げて、モダン楽器、声楽等により、バロックから、フランス、イタリア、ロシア、日本における、近現代までの音楽をお届けします

Introitus

Requiem æternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem.
Exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.
Requiem æternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.

Seminario di musica 於 松本記念音楽迎賓館 (都内世田谷区)

このセミナーは3年程前より同館のご厚意により始まった、小中高生のための勉強会+チェンバロ発表会です。イタリア語やイタリア語の歌を勉強した後、各自、普段ピアノで弾いている曲をチェンバロで弾いてみましょう。八王子におけるチェンバロ練習室もご利用ください。

今年からは、チェンバロ発表会の前にチェンバロ等を使った、親子で楽しめる50分程のコンサートを設けます。コンサートと勉強会を含んだ案内、あるいは、このコンサートだけの案内もお送りいたします。なお、このコンサートの部分はどなたでもお越しください。すべて無料です。

次回5月ごろを予定しています。

若い方が、石油化学生成物 (ビニール、プラスチック類) で包装された食品をなるべく口にしない様、気を配ります。

192-0914 八王子市片倉町888-44 山野辺暁彦 tel/fax 042-635-3784 Akihiko Yamanobe